

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 21			交通安全施設維持事業				☐ 法定受託事務	
所管課	都市整備部 道路河川管理課					評価者	道路河川管理課課長 秋山 崇		
一般	会計	款	45	項	10	目	8		
総合計画上の位置付け	分野名	道路整備			施策の方針名		道路・橋りょうの整備・維持管理		

1 事業の目的

対象	市民等	意図	安全な交通を確保し、事故防止を図るため。
効果	交通の円滑化、安全性の向上を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	視認性が低下した道路ライン等の補修や新設	視認性が低下した道路ライン等の補修や新設（道路交通安全施設維持事業に名称変更）	視認性が低下した道路ライン等の補修や新設
予算額（千円）	9,070	9,070	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	9,070	9,070	0
当初人員配置数	1.0	1.0	0.0
人件費（千円）	8,537	8,826	0
事業実績	視認性が低下した道路ライン等の補修や新設		
決算額（千円）	8,641		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	8,641	0	0
人員配置実績数	1.0	1.0	0.0
人件費（千円）	8,283	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	道路ライン等の補修業務件数	件数	6	⇒	6		
	実績につながる活動	道路ライン等の補修業務を実施した				8,641		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	道路ライン等の設置により「誰もが安心して通行できる道路を確保します等」が達成できる。100%の達成率は、円滑に発注できたと評価できる。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No （最大3つ）
					実績			
成1	市民要望件数（道路ライン関連）	件数	77	↓	77			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	成果指標（アウトカム）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	道路ライン等の施工により安全な交通を確保した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	道路ライン等の補修を実施し、通行区分等を明確化することで安全な交通の確保に寄与した。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	□ 十分に出ている	■ 概ね出ている	□ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
	公平性	受益者負担	□ 導入済	□ 導入予定	■ 導入できない
方向性	評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り □ 事業内容は見直し済 □ 事業を休止又は廃止済 □ 他事業と統合済	⇒	■ ① 事業内容は現状通りとする □ ② 事業内容は見直す → □ 拡大 □ 縮小 □ その他 □ ③ 事業は休止又は廃止する □ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	■ 予算規模は現状維持 □ 予算規模は拡大済 □ 予算規模を縮小済	⇒	■ ① 予算規模は現状維持とする □ ② 予算規模は拡大する □ ③ 予算規模は縮小する	
	今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応 前年度の新たな課題への対応結果 活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題 新たな課題に対応するための新規事業の必要性	結果	具体的な内容 前年度は新たな課題なし 新たに認識された課題はなかった 新たに認識された課題はなかったため検討なし	
総評					道路ライン等の補修を実施することで、通行区分等を明確化することで安全な交通の確保の成果を達成した。今後は、効率的な執行方法を検討し、執行量の最適化を図っていく。 上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	道路利用形態や通行料等条件が異なり、施設劣化進行に規則性がないため他市比較しても図れるものではない。
----------------------	--